

3 その他の地域で発生した竜巻等の突風

3.1 11月7日に日高町で発生した竜巻

(1) 竜巻の概要

11月7日11時40分頃、日高町字厚賀地区で突風により屋根の一部破損やビニールハウス倒壊などの被害が発生した。現地調査等からこの突風は竜巻と推定した。

【被害の形状】

- ア．被災地域が幅約20～100m、長さ約2.5kmの細長い帯状であった。
- イ．被害は日高町厚賀地区の厚賀中学校付近の物置飛散から始まっており、北東に向かって住宅の一部損壊やビニールハウスの損壊などが発生し美原地区の山林で消滅したと思われる。

【竜巻と判断した理由】

- ア．被害地域が細長い帯状であった。
- イ．聞き取り調査から、竜巻を目撃した人や「ゴー」という轟音を聞いた人が複数いた。
- ウ．物置が高さ約4mの倉庫を飛び越えて34m飛ばされていた。

【強度の推定とその根拠】

藤田スケール(Fスケール)でF1と推定した。
その根拠は、住宅の屋根の一部損壊やビニールハウスの倒壊などの被害状況から。

【発生時刻、移動速度】

目撃者が確認した時刻から、厚賀地区の竜巻は11時20分頃2本発生し、1本は厚賀漁港の西側海上から上陸後11時30分頃には消滅した模様。もう1本は上陸後被害を発生しながら移動した模様。移動速度は、発生および消滅の時刻・場所の特定ができないことから推定できなかった。
竜巻の明瞭な回転性の痕跡は確認できなかった。



図 3-1-1 日高町厚賀地区竜巻発生から消滅までの移動推定図

(2) 気象の状況

1項の気象概要のとおり、11月7日は日高地方を寒冷前線が通過しており、大気の状態は不安定となっていた。

11時30分の衛星可視画像(図3-1-2)では、日高沖に数本の筋状の発達した積乱雲が見られる。

気象レーダー(図3-1-3)では、11時30分に降水強度80mm/h以上の強い雨雲(赤丸枠)が竜巻が発生した日高町厚賀の南西側にあつて、11時40分には雨雲は北北東に進んで日高町厚賀に接近し、11時50分には日高町厚賀の北に抜けていった。

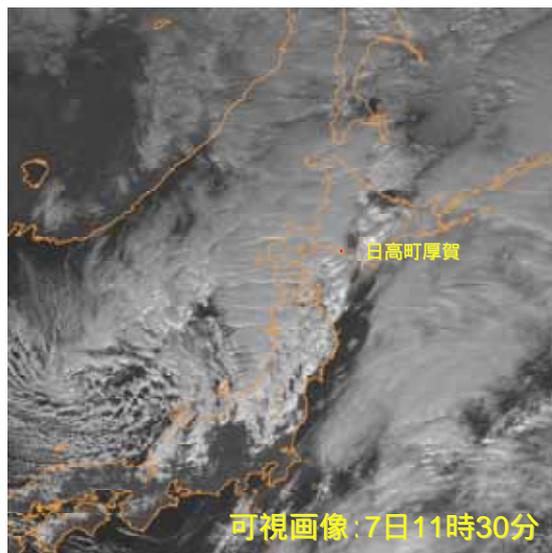


図3-1-2 衛星画像図

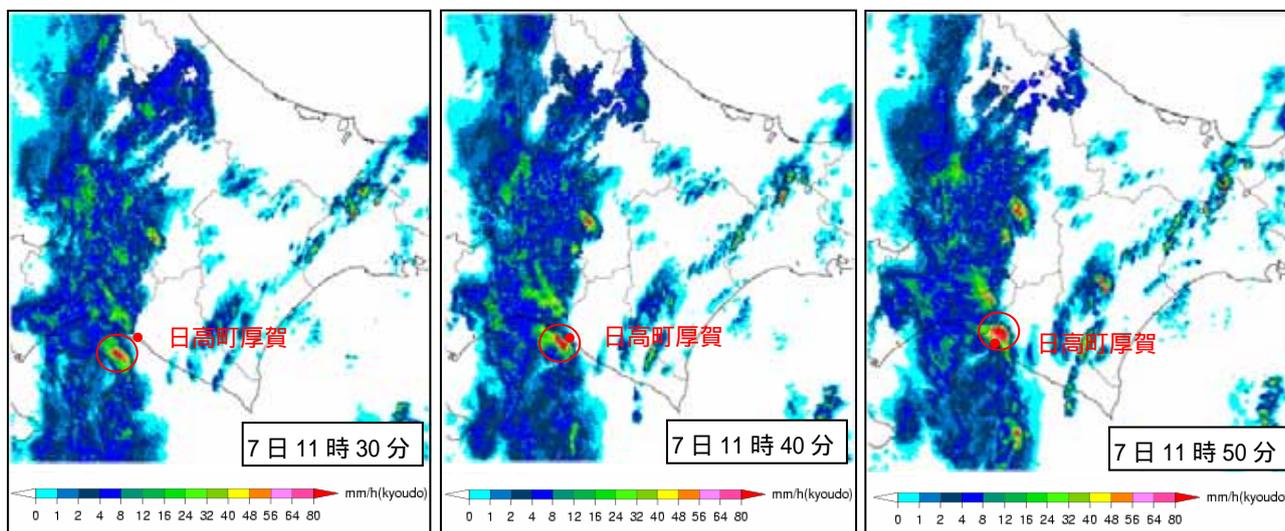


図3-1-3 気象レーダー図

(3) 被害状況の詳細

日高町字厚賀町	住宅の屋根の一部損壊	2棟
	非住家全壊	2棟
	ビニールハウスの損壊	20棟

11月14日現在 日高支庁地域政策課調べ(最終)

(4) 現地調査の概要

調査日時:平成18年11月8日09時00分~17時00分

調査人数:4名

調査方法:目視、聞き取り、写真撮影、資料収集

調査地区:日高町厚賀地区

(5) 聞き取り調査(丸囲み数字は図3-1-4に記した位置を示す)

日高町厚賀地区竜巻災害概要図に示した地点において聞き取り調査を行った。

地点（厚賀中学校）

11時45分頃急に周りが真っ暗になり、強い雨が降った。妻から風で物が飛んでいると電話があった。外へ出てみると物置が飛ばされていた。雷・雹はなかった。

Aさん：11時50分頃風が巻いているように見えた。トタンが飛んでいた。

地点

Bさん：家の中にいた。周りが真っ暗になり葉っぱなど巻いているのを見た。過去に竜巻を見たことがあるが、今回も竜巻だと思う。

Cさん：中学校教員住宅の物置小屋はそこで壊れたんじゃなく、形を残したまま転がって行って記念碑にぶつかった。国道のり面工事作業員が、竜巻が移動していくのを見ていた。竜巻は2本あったらしい。

Dさん：11時20分頃空が急に暗くなり厚賀漁港西側の沖合を見ると漏斗雲が出ていた。また、厚賀海岸のコンクリート作業現場沖合に別の漏斗雲が現れた。11時30分頃には厚賀漁港側の雲は海岸に移動後消滅した。作業現場沖合の雲は海水を吸い上げながら海岸に近づいた。その直後に雹が降り雨も降り始めた。

地点

Eさん：ハウスのなかで作業していた。真っ暗になり「ゴー」という音がした。雨と雹が降った。舞い上がっている物を見た。自分も浮くような感じがしたのでポールにつかまった。恐怖を感じた。過去に経験がない。時間はわからない。Fさんが竜巻を見たといっていた。

Fさん：11時40分か50分頃急に空が暗くその後真っ暗になった。風が急に強くなりEさんのビニールハウスの方向から風を巻き上げ家の東側を通過していった。

地点

Gさん：ハウスの中で仕事をしていた。海岸の方（南方向）で真っ黒い雲と風が巻いているのを見た。11時30分頃「バリバリ」という音がした。家の横から山（北西方向）へ抜けた。雨はなかった。

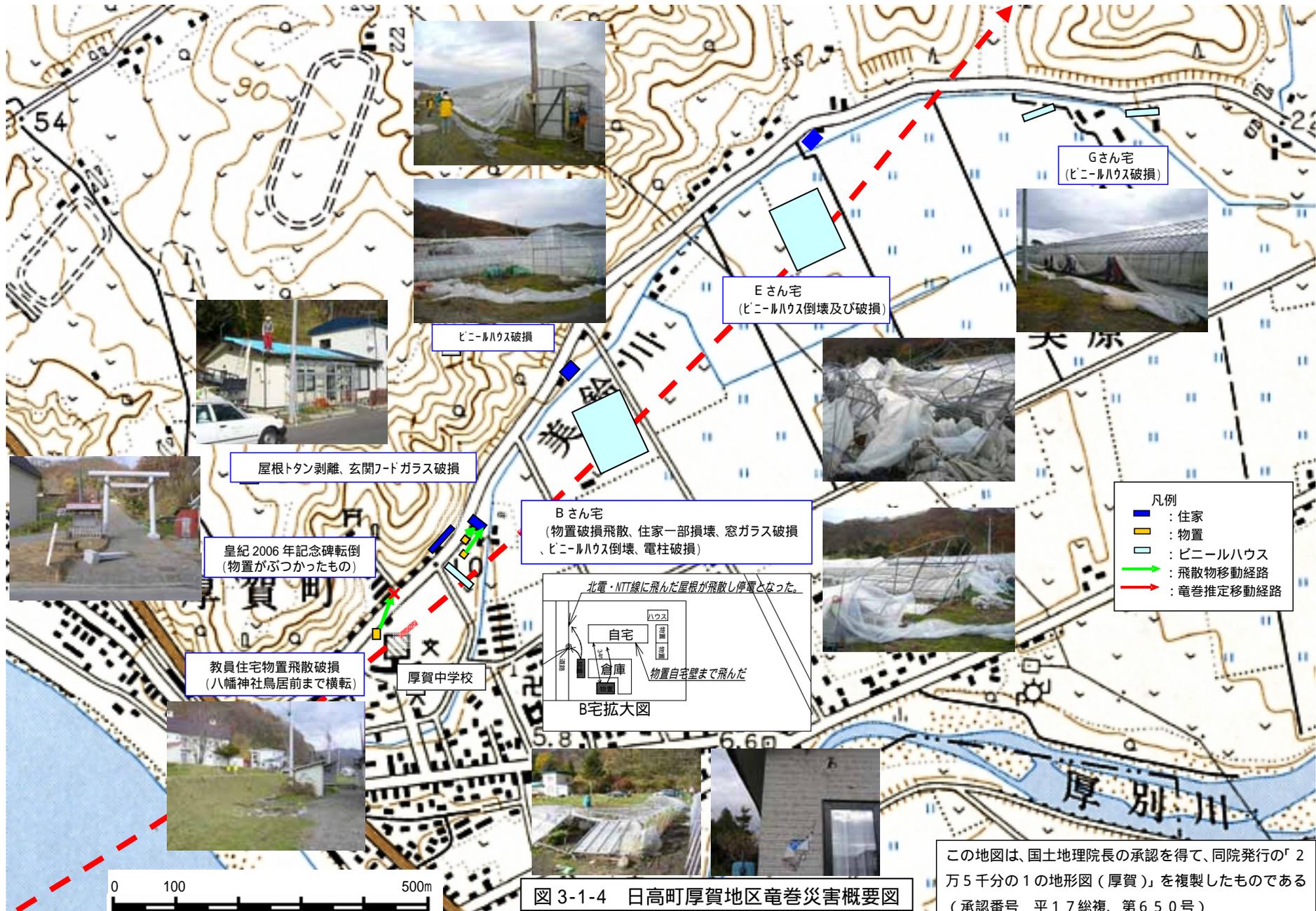


図 3-1-4 日高町厚賀地区竜巻災害概要図